

広島市・ホノルル市姉妹都市提携50周年記念イベント

ホノルルの日

Honolulu Day

記念コンサート

いま、ハワイで話題の日系3、4世親子ミュージシャングループ！

Mañoa^{マノア}*DNA* コンサート

入場無料
申込不要



日時：平成21年11月5日

18:30 ~ / 18:00開場

会場：アステールプラザ

大ホール

TEL 082-244-8000

記念式典

ムフィ・ハネマン ホノルル市長と秋葉 忠利 広島市長及び
両市の市議会議員のあいさつのほか、両市長によるお祝いの
歌の披露などがあります。



ムフィ・ハネマン市長



秋葉忠利市長

お問い合わせ先：082 242 8879 広島平和文化センター 国際部 国際交流・協力課
主催：広島市、平成21年度ホノルルの日実行委員会
後援：駐大阪・神戸アメリカ総領事館 協力：ハワイ州観光局、オアフ観光局

《ホノルル市の紹介》

ホノルル市はアメリカ合衆国・ハワイ州の州都です。
“ホノルル”とは「避難港」を意味するハワイ語で、かつては捕鯨船の補給地でもありました。
美しい風景と1年を通じて快適な気候が人気で、世界中から多くの観光客が訪れています。
ハワイは世界中から多くの移民を受け入れた土地で、日本からも明治18年（1885年）から27年（1894年）までの10年間に約3万人の人々が農業などに従事するため移住し、その3分の1は広島出身者でした。



ホノルル市

《姉妹都市提携の経緯》

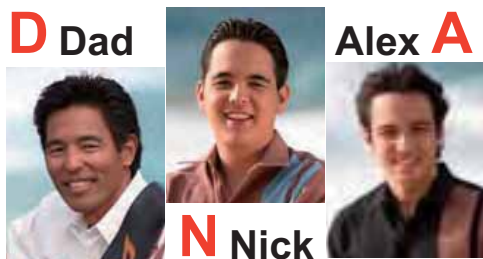
ホノルル市は広島市の最初の姉妹都市です。
戦後、米国との人的交流や文化交流が活発になってきたこと、また、1950年代にアメリカ政府の姉妹提携を奨励する運動などを背景に、日米間で提携の気運が高まってきました。

昭和34年（1959年）5月19日にホノルル市議会が本市に対する姉妹提携招請決議を行い、本市に提携を申し入れました。これを受けて、同年6月15日に広島市議会において、人口規模もほぼ匹敵し、ホノルルに広島出身者が多く互いに親近感が強いことなどから、「両市民の連繋によって・・・相互の信頼と理解を深め、もって日米両国間の友好親善に資することを確信」し受諾決議を行ったことによって提携が成立しました。

マノア Manoa DNA

《コンサート出演者の紹介》

オアフ島の閑静な住宅街マノア出身、父と息子二人の3人グループ。
さわやかなルックスと親子ならではの息のあった美しいハーモニーは、ハワイの音楽シーンで注目を集めている。グループ名の“DNA”は、遺伝子すなわち親子というイメージに直結しますが、「英語で「父」=ダッド（D）、ニック（N）、アレックス（A）」の頭文字を取ったといえます。
ハワイでは、古代からオハナ（家族）の絆が人間形成や社会形成の基本であると信じられてきました。
新世代のコンテンポラリー・ハワイアン・ミュージック界に登場したオハナを象徴するグループです。



サラ・ノイル

ハワイ大学の現役学生。
ハワイの文化やフラをより深く理解するため、大学ではハワイ語の習得にも励んでいます。
幼い頃よりフラをはじめ、現在はオアフ島の名門“ハラウ・イ・カ・ヴェキウ”でダンサーとして活躍している。
また、ハワイ州観光局の2008年、2009年のテレビCFやポスターにもダンサーとして出演しています。



姉妹都市提携50周年記念事業

『ハワイ移住展』

日時：平成21年11月5日～11月7日
9：00～17：00（5日は20：00まで）

会場：アステールプラザ 1階 市民ギャラリー

内容：1885年にハワイへの第1回移民船シティ・オブ・トーキョー号が出航して以来、多くの日本人がハワイへ移住しました。特に「ハワイでは広島弁が標準語」とも言われるほど広島からは多くの方がハワイに移住されています。本展示会では、サトウキビ農園で実際に使用された道具や生活用具等とともに、ハワイ移住の歴史や広島との関わりを紹介します。



鉄道敷設工事に従事する移民の皆さん

平成21年度 ホノルルの日実行委員会 構成団体

広島日米協会、広島ハワイアン愛好会、広島商工会議所、アルコ・デ・ヒロシマ、
(株)広島ホームテレビ、広島六大学野球連盟、広島市、広島平和文化センター



会場（アステールプラザ）交通案内

JR 広島駅から

電車 1号線・広島港行き 市役所前下車 600m
6号線・江波行き 舟入町下車 400m
バス 広島バス24号線... 吉島営業所又は吉島病院行き
厚生年金会館前下車 200m

タクシー 約15分

駐車場（有料）に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。